



消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

News Release

2026 年 7 月 28 日

「認証フードバンク」の初認証について

2026（令和 8）年 4 月 1 日から開始したフードバンク認証制度について、本日、以下の 4 団体を対象に、初めてとなる認証を行いました。

＜認証フードバンク団体＞

- ・ F001 特定非営利活動法人フードバンク福岡
- ・ F002 認定特定非営利活動法人フードバンク関西
- ・ F003 認定 N P O 法人フードバンク山梨
- ・ F004 特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン

本制度は、フードバンク認証事務局を担う消費者庁が、「食品寄附ガイドライン～食品寄附の信頼性向上に向けて～」（令和 6 年 12 月 25 日「食品寄附等に関する官民協議会」とりまとめ）に基づき、トレーサビリティや衛生管理等の遵守について認証を行うものです。

本制度の活用を通じ、食品寄附への社会的信頼を高め、食品ロス削減と食品寄附促進の取組をより一層、推進してまいります。

【参考】

フードバンク認証制度関係ウェブサイト

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/foodbank_001/index.html

農林水産省フードバンクオープンリスト掲載ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/access/index.html>

【添付資料】

別添 認証フードバンク団体について

【問合せ先】

フードバンク認証事務局

（消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室）

担 当 ： 小林、石倉、西田

電 話 番 号 ： 03-3507-9261(直通)

メールアドレス ： no-foodloss-houan@caa.go.jp

(1) 基本情報				
団体名称	特定非営利活動法人フードバンク福岡			
郵便番号	〒814-0151			
住所	福岡市城南区堤2丁目9-23			
電話番号	092-710-3205			
FAX	092-710-3206			
メールアドレス	fbfukuoka@gmail.com			
ホームページURL	http://www.fbfukuoka.net			
(2) 理念・活動情報				
基本理念	「もったいない」をなくし「おすそわけ」をあたりまえに～まだ食べられる食品が多く捨てられる現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にする意識の醸成を図り、食を通じて人と人とが繋がり、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、誰もが尊厳をもって暮らすことができる社会を作ることとする。			
主な活動内容	フードバンク			
団体の設立年	2016年4月			
フードバンク活動の開始年	2016年4月			
法人格の取得の有無	有			
(3) 取扱・受入条件等に関する情報				
主な取扱品	加工食品（常温）、加工食品（冷蔵）、加工食品（冷凍）、米、水産物、畜産物、農産物(キャベツ、ジャガイモ、トマト、バナナ)、など			
特に求めている品目	食品一般(レトルト食品・缶詰め等)・菓子 食品であれば基本対応			
受入条件	賞味期限が1ヶ月以上残っているもの			
受入可能日	毎週 月・木・金			
駐車可能な車両のサイズ	10tトラック駐車可能（フォークリフト設備あり）			
冷蔵・冷凍設備の所持の有無	有り プレハブ冷蔵庫10m 冷蔵庫(986L1台)冷凍庫（986L4台）			
主な提供先	児童養護施設、母子生活支援施設、シェルター、自立援助ホーム、更生支援施設、障害者施設、生活困窮者支援団体、個人支援、炊き出し、老人施設、グループホーム、災害支援団体、学校外学習生活支援団体、子ども食堂等			
(4) 食品取扱量等に関する情報				
年度	食品取扱量（単位：トン）			野菜の時期・品目
	全体	うち、 他のフードバンク からの受入量	うち、 野菜の取扱量	
令和2（2020）年度	160.0	1.0		
令和3（2021）年度	236.7	5.0	30.0	年間、トマト、柑橘、キュウリ、ナス、バナナ、大根、ジャガイモ
令和4（2022）年度	265.1	5.4	30.0	年間、トマト、柑橘、キュウリ、ナス、バナナ、大根、ジャガイモ
令和5（2023）年度	336.5	5.7	9.6	年間、野菜・果実全般、米
令和6（2024）年度	381.5	32.0	23.6	年間、野菜・果実全般、米
令和7（2025）年度	390.1	32.0	30.4	年間、野菜・果実全般、米

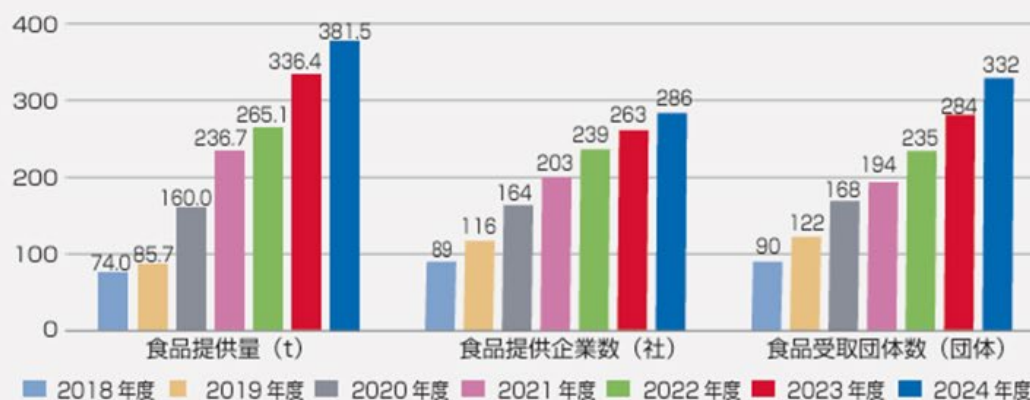




フードバンク福岡の取り組み

- ①障がい者施設・子ども食堂・行政・学校・ひとり親等食品の必要な施設・団体へ堤本部をはじめとして福岡県内5施設で食品を提供
- ②1,000㎡の敷地内に施設を保有し、中核フードバンク団体として、他のフードバンクと連携
- ③フードドライブを始めとして地域全体で食品ロスの削減を実施2025年度フードドライブ26ト提供いただきました。
- ④受け取り施設の予約システム、受け払いのシステム化等独自の仕組みを構築・活用しています。

フードバンク福岡のあゆみ（2018年以降）



(1) 基本情報				
団体名称	認定特定非営利活動法人フードバンク関西			
郵便番号	〒658-0021			
住所	兵庫県神戸市東灘区深江本町1丁目8-16-101			
電話番号	078-855-7025			
FAX	078-855-7028			
メールアドレス	info@foodbankkansai.org			
ホームページURL	https://foodbankkansai.org/			
(2) 理念・活動情報				
基本理念	命の糧である食べ物を有効活用して、互いに支え合い、尊重し合える社会の実現を目指します。			
主な活動内容	フードバンク			
団体の設立年	2003年4月			
フードバンク活動の開始年	2003年4月			
法人格の取得の有無	有			
(3) 取扱・受入条件等に関する情報				
主な取扱品	加工食品（常温）、加工食品（冷蔵）、加工食品（冷凍）、農産物（米、野菜・果物）など			
特に求めている品目	米、おかずになる常温加工品、たんぱく源になるもの			
受入条件	賞味期限が1ヶ月以上残っているもの			
受入可能日	平日9時30分～15時（お盆の時期、年末年始を除く）			
駐車可能な車両のサイズ	10トン車1台（フォークリフトなし）			
冷蔵・冷凍設備の所持の有無	冷蔵倉庫1台（9720ℓ）冷蔵庫1台（127ℓ）冷凍庫3台（各1050ℓ） 冷凍倉庫1台（6350ℓ）			
主な提供先	児童養護施設、母子生活支援施設、シェルター、自立援助ホーム、更生支援施設、障害者施設、ホームレス支援団体、グループホーム、災害支援団体、子ども食堂等の非営利団体や福祉施設などと生活困窮者及び世帯			
(4) 食品取扱量等に関する情報				
年度	食品取扱量（単位：トン）			野菜の時期・品目
	全体	うち、 他のフードバンク からの受入量	うち、 野菜の取扱量	
令和2（2020）年度	251.1	25.7		
令和3（2021）年度	281.68	11.02	44.03	通年・じゃがいも、玉ねぎなどの根菜、キャベツ、白菜などの葉物、バナナ、イチゴなど果物全般
令和4（2022）年度	276.2	8.67	50.0	通年・じゃがいも、玉ねぎなどの根菜、キャベツ、白菜などの葉物、トマト、バナナ、イチゴなど果物全般
令和5（2023）年度	247.8	5.8	42.8	通年・じゃがいも、玉ねぎなどの根菜、キャベツ、白菜、レタスなどの葉物、トマト、バナナ、イチゴ、みかんなど果物ほぼ全般
令和6（2024）年度	247.5	3.9	31.2	通年・じゃがいも、玉ねぎなどの根菜、キャベツ、白菜などの葉物、バナナ、みかんなど果物全般
令和7（2025）年度	249.6	10.4	41.3	通年・じゃがいも、玉ねぎなどの根菜、キャベツ、白菜などの葉物、バナナ、みかんなど果物全般



FOODBANK
KANSAI

フードバンク関西



食品関連企業や個人から食品の寄贈を受けて必要なところにお届けし、
「食」をつなぎ、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指します



• 福祉施設・団体への食品提供

母子生活支援施設、児童養護施設、障害者や外国人支援団体、こども食堂など、登録団体に食品を定期的に提供し、それぞれの活動で活用して利用者の生活の向上に役立てていただいています。

主に阪神間の約150団体にお届けしています。



• 食のセーフティネット

近隣の自治体の福祉部署または社会福祉協議会などの相談機関からの要請を受け、様々な理由で困窮に陥った一般市民に対して、約1週間分の食品を用意して担当部署を通じて世帯にお届けします。

いのちをつなぎ、明日を生きる希望を届けます。



• 子育て世帯支援

「子ども元気ネット、元気便」民間の支援団体、行政等の機関を通じて登録いただいた困窮子育て世帯に対して、1年間4回、食品を直接宅配で無償で送ります。

「子育て世帯応援食品パック」学校の長期休暇の時期に兵庫県下の困窮子育て世帯に、食品の詰め合わせを無償で宅配で送ります。

食品には、お腹を満たすだけでなく、人の心を支え、笑顔と希望を生み出す力があります。

まだ十分に食べられる未利用食品は、支援を必要とする方々の生活再建を支え、新たな一歩を踏み出す力となります。
企業の皆さまからお預かりした食品は、一つひとつ大切に活用され、必要とする人へ確実に届けられています。

フードバンク関西は、企業・行政・地域団体など多様なパートナーと連携し、「食」を通じて食品ロスの削減と困窮者支援を両立させ、誰もが安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現を目指します。



子育て世帯応援食品パック受領世帯からのメッセージ



(1) 基本情報

団体名称	認定NPO法人フードバンク山梨
郵便番号	〒400-0203
住所	山梨県南アルプス市徳永1603-1
電話番号	055-298-4844
FAX	055-298-4885
メールアドレス	info@fbyama.com
ホームページURL	https://fbyamana.fbmatch.net

(2) 理念・活動情報

基本理念	十分に安全に食べられるのに、箱が壊れたり印字が薄くなったりして販売できない食品や家庭から出る余剰食品を寄贈していただき、生活困窮家庭や施設・団体に無償で提供する。
主な活動内容	フードバンク、中核的フードバンク、シングルマザー支援
団体の設立年	2008年10月
フードバンク活動の開始年	2008年10月
法人格の取得の有無	有

(3) 取扱・受入条件等に関する情報

主な取扱品	米（白米、玄米、粳）、常温食品、冷凍食品、冷蔵食品、防災品など
特に求めている品目	冷凍食品（業務用可）、加工食品（常温）、米
受入条件	賞味期限が明記され2ヶ月以上ある未開封の食品。冷凍冷蔵品は食品製造企業からの寄贈のみ受付。お米は古米（前年度産）まで。配送か持込。1個から受付。大量の場合は事前連絡希望。野菜・果実・自家製食品の取扱い無し。
受入可能日	月～金曜日8：30～17：00（祝祭日、年末年始除く）
駐車可能な車両のサイズ	15トントラック2台同時搬入可（電動フォークリフト2台あり）
冷蔵・冷凍設備の所持の有無	有 プレハブ式冷蔵庫1台（13,000L）、プレハブ式冷凍庫2台（11,960L + 8,800L）、冷凍ストッカー1台（577L）、1.7トン冷凍車1台
主な提供先	①生活困窮世帯：2024年度延べ12,535世帯を支援。内訳は、食のセーフティネット事業（延6,047世帯）、フードバンクこども支援プロジェクト（延2,956世帯）、つながるスマイルプロジェクト（延2,025世帯）、高校生支援（延1,507世帯）。その他、利用対象者にTwinkle Stars Academy（参加者延147人）ももっ子クラブ（参加者延95人）、シングルマザー応援Lachic（参加者延51人）などの機会と支援を提供。②連携する山梨県内フードバンク団体は15団体。③登録施設団体への提供は約100トン。④地方自治体、子ども食堂。

(4) 食品取扱量等に関する情報

年度	食品取扱量（単位：トン）			野菜の時期・品目
	全体	うち、 他のフードバンク からの受入量	うち、 野菜の取扱量	
令和2（2020）年度	143.0	0		
令和3（2021）年度	177.0	0		夏場（5月～9月）を除く通年：2月人参など
令和4（2022）年度	198.0	0		野菜の取扱い無し
令和5（2023）年度	376.0	2.0	0	
令和6（2024）年度	306.0	0	0	
令和7（2025）年度	354.0	7.7	0	



夏休み高校生203人が参加する 「ナツボラ～君の力で誰かを笑顔に～」



食を通じて困ったときは
お互いさまの社会を作る

毎日の暮らしに不安を抱える方々は増え続けています。

病気やけが、失業、離婚など、誰もが思いがけない事情により、生活の困難に直面する可能性があります。だからこそ、私たちは困ったときは「助けて」と安心して声をあげられる“お互い様”の社会を目指していきたくて考えています。皆さまの「応援したい」という温かなお気持ちを、ぜひご寄付という形にさせていただけますようお願い申し上げます。

年間総支援件数推移



①山梨フードバンクセンター全景

2022年、企業・市民の皆さまのご寄付で建設
総面積 563㎡



②倉庫内

25年度取り扱い量 354トン
倉庫保管能力 約70トン



③大型車での搬入

企業からの大口寄贈の受入



(1) 基本情報

団体名称	特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン
郵便番号	〒111-0053
住所	東京都台東区浅草橋4-4-4 並河ビル1F
電話番号	03-5822-5371
FAX	—
メールアドレス	info@2hj.org
ホームページURL	https://2hj.org/

(2) 理念・活動情報

基本理念	「すべての人に、食べ物を。」をスローガンに、平時・有事に関わらず、誰もが 必要な時に栄養のある十分な食品を安心して受け取れるフードセーフティネット の構築を目指します。
主な活動内容	フードバンク
団体の設立年	2002年3月
フードバンク活動の開始年	2000年1月
法人格の取得の有無	有

(3) 取扱・受入条件等に関する情報

主な取扱品	加工食品（常温）、加工食品（冷蔵）、加工食品（冷凍）、農産物
特に求めている品目	・主食やおかずなど食事に直結するもの ・調理済ですぐに食べられる加工食品 ・食事として栄養バランス向上に資するもの ・個人（世帯）でそのまま受取・利用しやすいもの
受入条件	案件ごとに判断となりますのでまずはご相談ください。 賞味期限切れは受入しておりませんが、期限までの残り日数は柔軟に検討します。
受入可能日	土日祝日を除く。（拠点により異なるため具体的な日程は事前の調整となります）
駐車可能な車両のサイズ	10トン車まで可。（拠点により異なるため具体的には事前の調整となります） フォークリフトでの荷受け可。（埼玉拠点、中能登拠点）
冷蔵・冷凍設備の所持の有無	有：埼玉拠点にプレハブ冷凍室（2.5坪）2台、プレハブ冷蔵室（2坪）1台。 その他各拠点に業務用冷凍庫・冷蔵庫。
主な提供先	・以下の福祉施設や支援団体等：児童養護施設、母子生活支援施設、シェルター、 自立援助ホーム、更生支援施設、障がい者施設、生活困窮者支援団体、炊き出し 団体、災害支援団体、学校外学習生活支援団体、フードパントリーなど ・生活困窮の個人・世帯への直接支援

(4) 食品取扱量等に関する情報

年度	食品取扱量（単位：トン）			野菜の時期・品目
	全体	うち、 他のフードバンク からの受入量	うち、 野菜の取扱量	
令和2（2020）年度	-	-	-	-
令和3（2021）年度	-	-	-	-
令和4（2022）年度	-	-	-	-
令和5（2023）年度	1,307.6	-	-	-
令和6（2024）年度	1,318.7	-	-	通年で多品目を受け入れています
令和7（2025）年度	1,346.4	-	-	通年で多品目を受け入れています





私たちは、日本初のフードバンクです。
まだ充分食べられるにも関わらずさまざまな理由で活用されない食品を受け取り、
それらを必要とする人々へ提供する活動を行っています。



埼玉拠点ではフォークリフトが活躍しています

2002年の設立以来、累計で2,891の企業・団体から食品の寄贈を受けています。（2025年末時点）

2025年は年間1,346トンの食品寄贈を受入れ、475の団体への提供と、直接の個人支援に活用しました。

食品メーカー等からの10トン車クラスの納品も多く、活動の中心である埼玉拠点（八潮市）ではフォークリフトがフル稼働しています。

フードバンクの活動においては、寄贈食品と必要な人をつなぐ物流の機能が要です。

当団体でも4トン車2台を含むトラックを所有していますが、物流企業による保管スペースの提供や、運搬の協力など、多くのご支援を受けながら活動しています。



4トントラック2台を含む5台のトラックを所有しています



直営のフードパントリーには生鮮品も並びます

提供する食品の栄養バランスも大切にしています。
常温の加工食品に加え、米、青果、冷蔵品、冷凍品を取り扱っており、
様々な種類の食品をバランスよく提供できるよう努めています。

ただ空腹を満たせばよいのではなく、食卓がより豊かになり、健康につながる食品を提供していきたいと考えています。



セカンドハーベスト・ジャパンは、平時・有事に関わらず、誰もが必要な時に栄養のある充分な食品を安心して受け取れるフードセーフティネットの構築に向け、官民含む多様なステークホルダーと協働してまいります。